

山本県政の実績とこれからの2年

県央ワクチン接種センター(仮称)

Gメッセ群馬(展示ホール)

6月下旬～9月末まで運用

山本県政の目指す姿と実績

山本県政の「目指す姿」

知事として最大の目標は

県民の幸福度の向上

新・群馬県総合計画「ビジョン」
群馬県が達成すべき20年後の目標

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、
すべての県民が、誰一人取り残されることなく、
自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる
「自立分散型の社会」を構築する

山本県政の「実績」

Ⅰ 前例踏襲脱却

【新しい道を切り拓くため、前例にはとらわれない】

- ・政策決定の透明化とスピードアップ
- ・中期財政見通しの作成と公表
- ・財政の健全化を確保しつつ、県に新たなリソースを生み出すための、大胆な予算編成
- ・大規模な組織改正による、新たな部などの設置
- ・県有施設のあり方の見直しと最終報告の発表
- ・その他、様々な行財政改革の推進 など

山本県政の「実績」

2 新・群馬の創造

【 本県に新たな富や価値を創出する取組を推進 】

- ・動画放送スタジオ「tsulunos」の開設
- ・イノベーションハブ「NETSUGEN」の開所
- ・教育イノベーションプロジェクトの推進
- ・多文化共生・共創を推進
- ・デジタルトランスフォーメーションの推進
- ・ぐんまちゃんのアニメ化によるブランド化
- ・『ぐんま5つのゼロ』を宣言
- ・アートによる地域創造 など

山本県政の「実績」

3 新型コロナの封じ込め

【 県民の命と健康、そして暮らしを守る 】

- ・検査の拡充及び病床の確保
- ・C-MATチームの設置
- ・県営ワクチン接種センターの開設
 - 東毛ワクチン接種センター（太田市）
 - 県央ワクチン接種センター（高崎市）
- ・ストップコロナ!対策認定制度
- ・新型コロナウイルス感染症対応資金の創設
- ・～愛郷ぐんまプロジェクト～
 - 「泊まって!応援キャンペーン」の実施 など

この2年間の振り返り

1年目の振り返り【5つの重点施策①】

A 県GDP・県民所得の拡大

※数値はR3.7.27時点

- 「新型コロナウイルス感染症対応資金」の創設(28,540件、4,076億円)
 - ・全国でトップクラスの手厚い7年間の利子補給
- 「ストップコロナ!対策認定制度」(6,869件を認定)
- ～愛郷ぐんまプロジェクト～「泊まって!応援キャンペーン」の実施
 - ・ウイズコロナ時代に対応したマイクロツーリズムの実現(327,534人泊、13.4億円)

B 安心を支える社会基盤整備

- 若手医師を呼び込む「ドクターズカムホームプロジェクト」
- 県立高校、県内市町村立小中学校における1人1台PCに向けた取組
- 「教育イノベーション・プロジェクト」の開始
- 「群馬・気象災害非常事態」を宣言
- 『ぐんま5つのゼロ』を宣言

1年目の振り返り【5つの重点施策②】

C 新たな群馬の誇り育成

- 「tsulunos」を開設（2年間で動画2,001本、290万回再生）
- ふるさと回帰支援センターに全市町村が加入
- 知事によるトップ外交（インディアナ州知事、ベトナム訪問）

D 官民連携による行財政改革

- 政策アドバイザー、メディア戦略アドバイザー、CDO、企業管理者 登用
- 大規模組織再編で、県庁マネジメントのスピードをアップ
- 「多文化共生・共創県ぐんま」を共同宣言

E 県政の透明化・オープン化

- あらゆる機会を捉え知事から情報発信（2年間で146回記者会見（臨時込））
- 中期財政見通しの作成・公表
- 独自項目を追加した群馬モデルによる内部統制の導入
- 「自我作古チーム」「政策プレゼン」による若手からの政策立案

2年目の振り返り【新型コロナとの戦い①】

検査の拡充

- 高齢者施設等におけるスクリーニング検査を全市町村に拡大（中核市を除く）
- 感染が多い地域の事業者従業員のモニタリング調査を実施

医療提供体制の充実

- 新型コロナ専用病床の確保（52床→470床）
うち、重症用病床（76床）
- C-MATチームを設置



コロナ専用病床



PCR検査

外国籍県民の感染対策

- 飲食店、派遣会社、教会、モスクなどへのローラー作戦を実施
- 大使館訪問による協力依頼と知事と外国籍県民との座談会を実施



C-MAT活動風景

2年目の振り返り【新型コロナとの戦い②】

ワクチン接種の推進・医療物資の確保

- 「東毛ワクチン接種センター」の開設 (R3.5.24)
 - ・都道府県による大規模接種センターの開設は全国初
- 「県央ワクチン接種センター」の開設 (R3.6.17)
 - ・全国最大規模 (1日あたりの最大接種回数)
- 「ぐんまワクチン接種LINE予約システム」を稼働
- 19カ国語に対応した「ぐんまコロナワクチンダイヤル」を開設
- マスク地産地消推進プロジェクト

ワクチン接種実績
は首都圏でトップ




2年目の振り返り【CSFとの戦い】

- 全国初の「知事認定獣医師制度」を導入
「知事認定獣医師」による豚熱ワクチン接種を開始 (R3.6.28~)
- 前橋市、高崎市、桐生市、渋川市で野生イノシシ向け経口ワクチンを散布
- 各養豚場ごと月2回以上の予防接種体制を開始
- 養豚農家向け「飼養衛生管理基準自己点検アプリ」を導入



2年目の振り返り【県議会、市町村、国との連携】

県議会

- 知事と県議会議長との県政懇談会を知事就任から5回実施
- 知事答弁の増加  知事就任以来、268回

市町村

- 知事、副知事が市町村長を直接訪問し、事業の説明や協力依頼
- 市長会・町村会に知事就任から7回参加（市長会5回、町村会2回）
- R3年度組織改正で県内全域に振興局を設置（中部、高崎安中、東部を新設）

国

- 参議院議員時代の人脈を生かし、様々な場面で大臣等を直接訪問 19回訪問
- 河野行革担当大臣の規制改革・行政改革担当大臣直轄チーム、西村経済再生担当大臣の新型コロナウイルス感染症対策推進室に県職員を派遣
- 群馬県提案の「救急車の高速道路利用往復無料化」が実現

群馬県のビジョンと7つの政策の柱

新・群馬県総合計画策定までの経過

20年後の目指す姿を描く「ビジョン」と、これを踏まえて、今後10年間に重点的に取り組む具体的な政策を体系化した「基本計画」の2つをあわせた、新たな総合計画を策定

新・群馬県総合計画策定懇談会（全5回）

ビジョン策定に係る地域別懇談会（県内11地域で開催）

ビジョン策定に向けた外部有識者ヒアリング（全6回）

ビジョン・基本計画検討のための各種県民アンケート

県議会総合計画に関する特別委員会、本会議での議決

令和3年1月1日「ビジョン」 令和3年4月1日「基本計画」

新・群馬県総合計画

ビジョン(計画期間 20年)

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、
すべての県民が、**誰一人取り残されることなく**、
自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる“**自立分散型**”の社会



基本計画(計画期間 10年)

ビジョン実現に向けた **7つの政策の柱**

7つの政策の柱ごとの **重要業績指標(KPI)**の設定

ビジョン3つのキーワード

① 「快疎」

他にはない価値を持ち、
空間的にも精神的にも安定した、
より快適な地域

② 「始動人」

自分の頭で考え、
他人が目指さない領域で動き出し、
生き抜く力を持つ人

③ 「官民共創 コミュニティ」

産学官民が連携し、
地域の課題を掘り起こして、
解決を図る取組

基本計画「7つの政策の柱」

I	行政と教育のDXの推進	◆ 2023年までに 最先端のデジタル県
II	災害レジリエンスNo.1の実現	◆ 2025年までを集中的な取組期間
III	医療提供体制の強化	◆ 自立分散型社会の前提となる 安全性強化
IV	県民総活躍社会の実現	
V	地域経済循環の形成	◆ 2030年に SDGsの達成 ◆ 自立分散型社会に向けた10年間のロードマップ
VI	官民共創コミュニティの育成	
VII	教育イノベーションの推進と「始動人」の活躍	◆ 個別最適で協働的な学び 実現(前半10年間) ◆ 新たな「 始動人 」を生む 自然循環 (後半10年間)

7つの柱ごとの2年目の主な実績

I

行政と教育のDXの推進

- ・県立高校の1人1台PCの整備が完了
- ・「群馬県庁DXアクションプラン」を策定



全国トップ5
を目指す!



- ・国内最大級の常設オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」を開設

GUNMA VIRTUAL EXPO
ホームページ

災害レジリエンスNo.1の実現

- ・「危機管理センターオペレーションルーム」を
県庁舎7階に整備することを決定

R3.9月完成予定!



- ・3つの柱からなる
「群馬県避難ビジョン」を発表

- ①選択肢を多様に
- ②避難所生活の質を向上
- ③オール群馬で立ち向かう



- ・「ぐんま・県土整備プラン2020」を
策定し、防災・減災対策を緊急的かつ
重点的に推進

- ・河川ライブカメラの動画配信を
開始 ※県内13河川・16箇所を設置



井野川1. 6k鎌倉橋

III 医療提供体制の強化

- ・ 新型コロナウイルス対策
(前記スライド10及び11)

2年目の振り返り【新型コロナとの戦い①】 10

検査の拡充

- 高齢者施設等におけるスクリーニング検査を全市町村に拡大
(中核市を除く)
- 感染が多い地域の事業者従業員のモニタリング調査を実施

医療提供体制の充実

- 新型コロナ専用病床の確保(52床→470床)
うち、重症用病床(76床)
- C-MATチームを設置



外国籍県民の感染対策

- 飲食店、派遣会社、教会、モスクなどへのローラー作戦を実施
- 大使館訪問による協力依頼と知事と外国籍県民との座談会を実施



2年目の振り返り【新型コロナとの戦い②】 11

ワクチン接種の推進・医療物資の確保

- 「東毛ワクチン接種センター」の開設(R3.5.24)
・ 都道府県による大規模接種センターの開設は全国初
- 「県央ワクチン接種センター」の開設(R3.6.17)
・ 全国最大規模(1日あたりの最大接種回数)
- 「ぐんまワクチン接種LINE予約システム」を稼働
- 19カ国語に対応した「ぐんまコロナワクチンダイヤル」を開設
- マスク地産地消推進プロジェクト

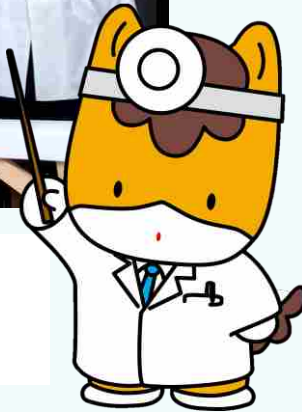
ワクチン接種実績
は首都圏でトップ



- ・ DCHP(ドクターズカムホームプロジェクト)
などに全力で取り組んだ結果、医師臨床研修
マッチングで過去最高の108人を達成



DCHP...若手医師の本県へのU・Iターンなど
県内定着を推進するためのプロジェクト



IV 県民総活躍社会の実現

- ・「群馬県インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援等に関する条例」制定

全国初!

- ・群馬県多文化共生・共創推進条例を制定

- ・部長職13名中、5名を女性に

人数、割合(38.5%)とも全国一

- ・女性管理監督職の増加 ↗
(217人→241人)

- ・県政初の女性教育長が就任

- ・困難を抱える女性を支援するため、
県有施設での生理用品無償提供を
順次開始

全国初!



ぐんま男女共同参画センター女子トイレ

県民総活躍社会の実現

- ・活力ある健康長寿社会実現のための
「群馬モデル」策定



ぐんま健康ポイント制度
県公式アプリ「G-WALK+」
R3.6.1 本格稼働!

- ・ぐんま犬猫パートナーシップ制度を開始



V 地域経済循環の形成

- ・G-アナライズ&PRチームの活動
「ぐんまのとうもろこし」動画公開(全6本)



- 「上州地鶏」動画公開(全5本)



- ・県営水力発電所の「温室効果ガス排出量ゼロ」の電気を届ける、地産地消の電力メニュー
「電源群馬水力プラン」を創設

V 地域経済循環の形成

- ・太陽光発電設備・蓄電池等を低価格で購入できる共同購入希望者の募集開始



群馬 みんなのおうちで太陽光 ホームページ

- ・クビアカツヤカミキリ予防対策事業を実施

全国初！



予防対策事業の様子
(サクラに対する薬剤注入処理)

官民共創コミュニティの育成

- ・デジタル技術でアイデアを形にしたい人と、それを支援したい人や企業が集うイノベーションハブ「NETSUGEN」を開所



全国初!

- ・19歳以下を対象にした「第1回U19eスポーツ選手権」(会場:Gメッセ群馬)を開催

官民共創コミュニティの育成

- ・本県ゆかりのアーティストの発掘と、
アートで群馬を元気にする
「アートインキュベーション32
(群馬アートオークション)」を開催



R3. 2. 27開催

- ・ぐんまちゃんテレビアニメの
放送決定を発表



R3. 10. 3テレビ放送スタート!

VII

教育イノベーションの推進と「始動人」の活躍

・吾妻中央高校で
STEAM教育推進プロジェクトを開始

Science	科学
Technology	技術
Engineering	工学
Art	芸術
Mathematics	数学



・公立小中学校の全学年を
35人以下学級に(小1・2は30人以下)



全国トップクラスの
少人数学級編制を実現!

・地域課題解決型学習プログラム
「始動人Jr.キャンプ」を実施



VIII 県政全般を支える取組

・財政健全化

事業見直し: $\Delta 8.1$ 億円 (R3当初予算)

財政調整基金: 前年度比+44億円の184億円 (R2決算)

・県有施設のあり方見直し

県都前橋の活性化と群馬県の実展を考ふるプロジェクトチム
(資産の有効活用に係る連携) を、前橋市と共同で設置

・県有施設のあり方見直し最終報告を発表

・令和2年度政策プレゼン

R2.12.22 政策プレゼン発表会
10グループが発表

